

予告 令和7年度 特色入試入学者選抜方法における変更について

令和7年度特色入試選抜方法等の変更を下記のとおり予定しています。この変更は、2022年12月7日付公表の追加です(参照:<https://www.kyoto-u.ac.jp/sites/default/files/inline-files/r7-tokushoku-keizai-5d400526b7a11e42218d5937849bc1c5.pdf>)。

なお、この内容は予定であり、変更する場合があります。

◇経済学部の変更について(予告)

(1)大学入学共通テスト利用教科・科目名の変更

令和6年度まで

文系型入試

【地歴・公民】世界史B(必ず選択すること)、及び日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1

理系型入試

【理科】物理(必ず選択すること)、及び化学、生物から1



令和7年度以降

文系型入試

【地歴・公民】歴史総合・世界史探究、歴史総合・日本史探究、地理総合・地理探究、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」から2※
※「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組合せを選択することはできない。

理系型入試

【理科】物理、化学、生物、地学から2※
※物理、化学のうち少なくとも1科目を選択すること。

(2)選抜方法及び基準の変更

令和6年度まで

文系型入試

提出書類、及び大学入学共通テストの成績を総合して合格者を決定します。
大学入学共通テストの合計得点が900点満点中概ね80%以上であり、「世界史B」、「外国語」の2科目についてはいずれも得点率が概ね90%以上の者について、提出書類をA・B・C・Dの4段階で評価し、Aの者を合格とします。

理系型入試

提出書類、及び大学入学共通テストの成績を総合して合格者を決定します。
大学入学共通テストの合計得点が900点満点中概ね80%以上であり、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」、「物理」の3科目についてはいずれも得点率が概ね90%以上の者について、提出書類をA・B・C・Dの4段階で評価し、Aの者を合格とします。



令和7年度以降

文系型入試

提出書類、及び大学入学共通テストの成績を総合して合格者を決定します。
大学入学共通テストの合計得点が満点中概ね80%以上であり、「地歴・公民」のうち得点がより高い科目、「外国語」の2科目についてはいずれも得点率が概ね90%以上の者について、提出書類を A・B・C・D の4段階で評価し、A の者を合格とします。

理系型入試

提出書類、及び大学入学共通テストの成績を総合して合格者を決定します。
大学入学共通テストの合計得点が満点中概ね80%以上であり、「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」の2科目、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」のうち得点がより高い1科目についてはいずれも得点率が概ね90%以上の者について、提出書類を A・B・C・D の4段階で評価し、A の者を合格とします。

(3) 文系型入試における求める人物像の変更（下線箇所を変更）

令和6年度まで

国際的な経済問題に興味を持ち、歴史的・文化的背景を重視した包括的なアプローチにもとづいて課題解決を志向する学生。特に、国際連携を重視した修士課程へ進学し、広い視野と高度な英語力を習得するとともに、優れたコミュニケーション能力とリーダーシップを発揮して産業界・官庁(国際機関を含む)にて活躍を目指す学生。もしくは、研究者養成のための修士課程・博士後期課程に進学し、持続性を重視した経済政策論・経済発展論などの分野で世界をリードする研究者になることを目指す学生。



令和7年度以降

国内外の幅広い経済問題に興味をもち、社会科学の総合的知見を重視した包括的なアプローチにもとづいて課題解決を志向する学生。特に、国際連携を重視した修士課程へ進学し、広い視野と高度な英語力を習得するとともに、優れたコミュニケーション能力とリーダーシップを発揮して産業界・官庁(国際機関を含む)にて活躍を目指す学生。もしくは、研究者養成のための修士課程・博士後期課程に進学し、持続性を重視した経済政策論・経済発展論などの分野で世界をリードする研究者になることを目指す学生。